

元気いっぱい 友だちいっぱい
すすんで学ぼう 夢つこう



美小通信 ⑥

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。
URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 高木 圭子
青葉区美しが丘2丁目29
電話(901)3408

自分らしい発想力と表現力

副校長 小島 多加江

3年の図工「あの日あの時の気もち」の授業のことです。

「うれしい気持ちは、大きく大きく。わくわくの気持ちは明るい色で。」

私はそう声を掛け、子どもたちは大きくのびのびとした絵を完成させていきました。

のびのびと
描かれた絵

楽しかった
気もちが伝
わってきます。
す。



沖縄の海でシュノーケリング



カミキリムシを見つけたよ



牛の乳しぼりをやったよ

その中に、水族館で見た魚を細かく小さく描いているAさんがいました。私は、「もっと大きいほうがいいんじゃないかな。」とアドバイスし、完成後に「大きく描けて、嬉しい気もちが伝わる絵になったね。」と褒めたのでした。

その一週間後、放浪の画家、山下清の美術展に行きました。ご存じの通り、山下清は日本の原風景を細かい貼絵で表し多くの人々を魅了してきた画家です。作品を間近で見ると、実に緻密な超絶技法の作風です。美術展には、子ども時代の作品もありました。山下清の子ども時代は昆虫の作品が多く、ペンで細かく描かれていました。八幡学園で教師が才能を見出し、引き出したことが、その後の清の画家人生のきっかけになったとのことでした。

作品を見ながら、私は大きく後悔しました。Aさんのことを思い出したのです。Aさんは、小さな魚をたくさん描くことで喜びを表現したかったのかもしれない。『大きく描くこと=子どもらしい作品』という思い込みを、子どもに押し付けてしまったかもしれないと思ったのです。

その後、担任から、Aさんは自由帳に細かく繊細な色遣いの絵を描き、友達から認められているという話を聞きました。私も見せてもらい、その才能に驚きました。Aさんは、巧みな色遣いと遠近法、シルエットを駆使した表現方法で描いていたのです。私が感心すると、満面の笑みを見せてくれました。自分の表現を認められたからこそその喜びだと感じました。



Aさんの自由帳の絵

グラデーションで
きれいに塗られて
います。

文科省・経産省が推奨しているIT社会に通用していくための人材育成法に「STEAM教育」というものがあります。S:科学、T:技術、E:工学、A:芸術、M:数学の5つの頭文字を組み合わせた教育概念です。初めは「STEM教育」だったのですが、3年ほど前より、自分のイメージや発想を表現する力の重要性からA:芸術が加えられました。これからの時代に、発想力や表現力がますます重要とされるということです。

今回、自由な自分らしい発想や表現を大切にすることを改めて実感しました。図工だけでなく、様々な教育活動の中で発想力や表現力を高める学習をさらに推進していきたいと思えます。今後とも、美小の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。